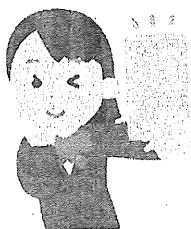


豊国中学校

スクールカウンセラーだより

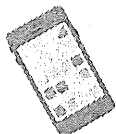
スクールカウンセラー 山口真依

残暑が厳しかった9月が終わり、秋風が涼しく過ごしやすい日が増えてきました。体育競技会、定期テストが終わり、2学期が始まってもう1か月です。季節の変わり目も重なって疲れが出やすい時期ですので、不調を感じる前に休息を取るなど無理せず過ごしていけるとよいですね。



本校では、9月の初めに“SNS講演会”がありました。SNS上でのコミュニケーションの特徴や気を付けるポイントについて、改めて考える機会になったのではないのでしょうか。

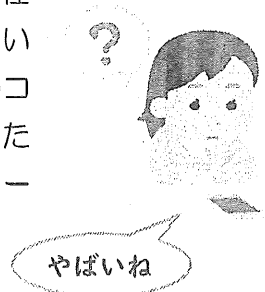
新型コロナウイルス感染症の影響を受け“オンライン〇〇”という言葉が一時期流行したように、現代においてインターネットやSNSは切っても切り離せない存在になっています。SNSや動画配信サービス、オンラインゲームなど、生活を楽しく便利にしてくれるインターネットですが、使い方によってはトラブルになってしまうことがあります。今回は、インターネット上のコミュニケーションで気を付けるポイントをお伝えします。



インターネット上のコミュニケーションの特徴

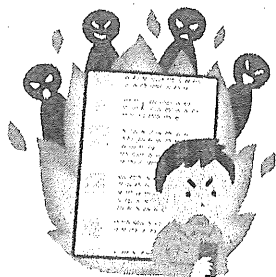
・言葉の意図が伝わりにくい

対面でのコミュニケーションでは、会話の内容に加え、相手の表情や仕草、声のトーンなどの多くの情報を手掛かりに、相手がどんな気持ちでいるのかを予想しながら会話をしています。一方で、インターネット上のコミュニケーションでは、相手から得られる手掛かりが文字に限定されるため、相手の思っていることを捉えにくいという特徴があります。メッセージを送る際には、誤解を招く表現はないかを見直すことが大切です。



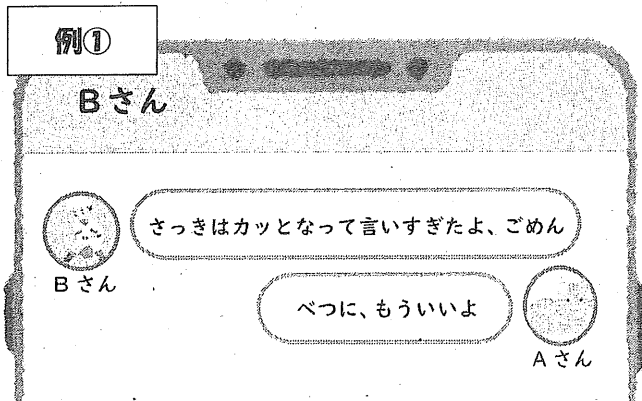
・投稿したものが残り続ける

インターネットにアップロードされた文字や動画などは、一度投稿されると取り消すことが困難です。投稿後、一定時間が経つと消える、送信した後に取り消しができるSNSもありますが、スクリーンショットなどで容易に保存ができてしまうため、思わぬところに残ってしまうことがあります。投稿する前に、ネット上に残ったとしても問題のない内容かをチェックするようにしましょう。



意図が伝わりにくく、メッセージが残ってしまうインターネット上のコミュニケーションは、自分の意図しない形でトラブルになることがあります。以下は、メッセージのやり取りで誤解が起こってしまった架空の例です。どうして誤解が起こったか、どんな言葉であれば誤解を防ぐことができたか。考えながら読んでみてください。

例①

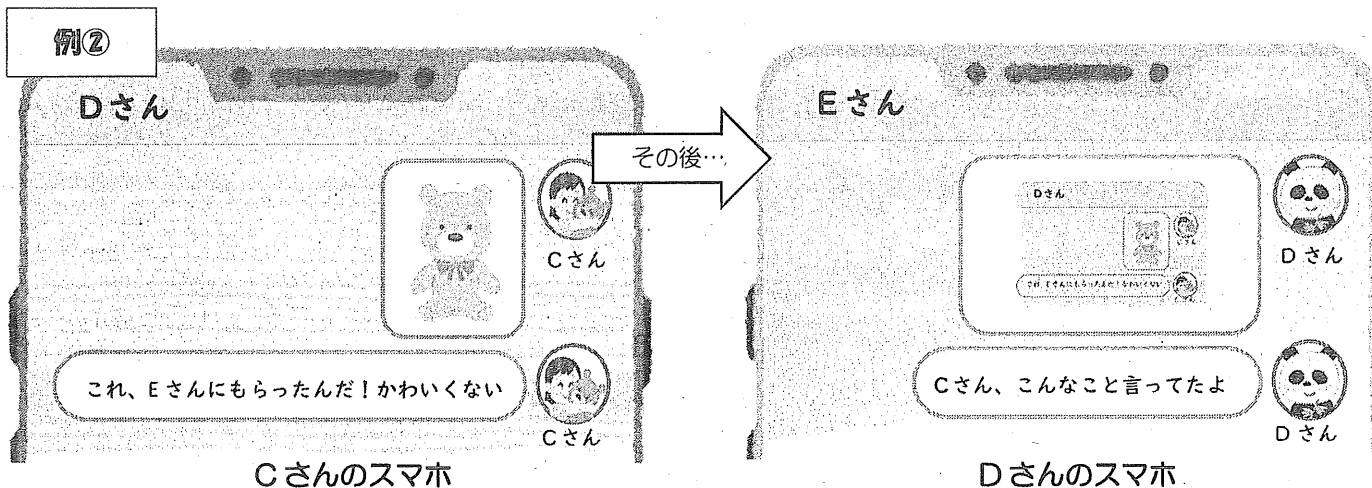


左のスマホ画面の絵を見てください。Aさんは、どういう気持ちで「もういいよ」という言葉を送信したと思いますか？

「もういいよ」という言葉は、「もう気にしてないよ」と解釈し、Aさんはもう怒っていないと考える人もいれば、「もう話すことはないよ」と解釈し、まだAさんが怒っていると考える人もいるのではないでしょ

うか。SNS 上では、話し言葉をそのまま文字にした言葉や、肯定にも否定にも受け取れる言葉（「やばい」など）は、正しい意味が伝わりにくいことがあります。送信ボタンを押す前に、メッセージを受け取った相手がどう感じるか、一呼吸置いて考えられるとよいですね。

例②



左上のスマホ画面において、Cさんはどのような気持ちでこうしたメッセージを送ったと思いますか？ また、右上のスマホ画面のように、CさんとDさんのやり取りを、第三者のEさんに見せることで、その後のCさんとEさんの関係はどうなるでしょうか。

まず、Cさんの「かわいくない」という言葉は、「かわいい」、「かわいくない」の2通りの解釈ができてしまい、文字では判別が困難です。「かわいいよね！」など表現を工夫することで、誤解を防ぐことができます。

また、メッセージを送信した本人がいないところで、第三者にやり取りを見せると、さらに誤解が広がってしまいます。メッセージを受け取った側も、むやみに広めない、疑問に思うことがあれば質問する（例：「かわいってこと？」）など、誤解したままにしないことを心がけましょう。

保護者の皆様へ

心の相談室では、保護者の皆様からのご相談も受け付けております。お子様のことで心配なこと等がありましたら、遠慮なくご利用ください。お子様の健やかな成長のために、一緒に考えていきたいと思っております。詳しくは、豊国中学校（481-4191）までお問い合わせください。